

事業番号	11 03 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	安全・安心な道路環境対策事業	部局	建設部	課・室	道路管理課	
		実施期間	S30 ~	E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり		3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造			
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入		4-4 生命・生活リスクの軽減			

## 1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	<b>【現状】</b> ○安全安心な道路環境を確保するため、道路の経年劣化に対する適切な維持管理が必要。 ○冬期間は、積雪・凍結により、危険が増加するため、安全で円滑な交通環境を確保するため、除融雪が必要。また積雪地域の防雪施設等のハードの整備が必要。 ○道路内の電柱は、災害時の倒壊が緊急輸送道路確保や、良好な景観の阻害となっている。 ○道路への落石等の危険箇所解消のため、防災施設等の設置が必要。 ○通学路の緊急合同点検により、県管理道路において安全対策が必要な箇所があり、早期の対策が必要。
	<b>【目指す姿】</b> ○道路施設の状態を把握し、計画的かつ効率的に補修を行うことにより、既存施設を有効に活用し快適な道路環境の確保を図る。 ○長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネル等道路施設の修繕を行い適切な維持管理を図る。 ○適正な除雪体制により、効率的な除融雪を行うとともに、防雪・消雪対策により、冬期間の安全・円滑な道路交通の確保を図る。 ○緊急輸送道路や、景観を重視する観光地等において障害となる電柱をなくすため、範囲を決め計画的に無電柱化を推進する。 ○落石等災害の危険性が高い箇所について、落石防護柵などの防災対策施設を整備し、道路災害の発生を未然に防止する。
	<b>【実施内容】</b> 橋梁修繕、除雪、スノーシェッド整備、電線類地中化、落石対策、交通安全対策など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	早期に対応が必要な橋梁の修繕実施箇所数	箇所	222/264 (84.1%)	237/264 (89.8%)	↑	358/987 (36.3%)	↑	223/987 (22.6%)	達成
2	通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数	箇所	485/546 (88.8%)	496/546 (90.8%)	↑	521/546 (95.4%)	↑	516/546 (94.5%)	達成
3									
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度	
事業 コスト 予算額	前年度繰越額	15,630,025	15,647,147	21,010,784
	当初予算額	24,844,800	29,772,685	21,734,857
	補正予算額	6,830,580	12,388,768	13,365,035
	合計(A)	47,305,405	57,808,600	56,110,676
	うち一般財源	11,056,800	11,309,778	14,320,071
決算額(B)	31,658,258	36,425,697	42,218,113	
職員数(人)	206.3	206.3	206.3	

成果指標及び目標値の設定理由	①安全・安心な交通を確保するため、橋梁長寿命化修繕計画(R2見直し)に基づき、「ランクⅢ、Ⅳ橋梁」の進捗率を22.6%まで向上させる。(223橋/987橋) ②通学中の児童等の事故をなくすため、平成24年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所の完了数を成果指標に設定。
達成状況の分析	①長寿命化修繕計画に基づき修繕を行ったことにより、目標を達成し、安全な通行を確保することができた。 ②丁寧な用地補償交渉を実施したことにより、用地補償が円滑に進み、対策工事が実施できた。

主な取組	<b>✓ 道路施設の修繕及び適切な維持管理</b> ・橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕(国補道路メンテナンス事業による橋梁修繕実施箇所 545箇所)	
	<b>✓ 安全に暮らせるための交通環境の整備</b> ・通学路緊急合同点検による要対策箇所の改良整備(対策箇所25箇所)	
	<b>✓ 自転車の活用による地域づくりの促進</b> ・長野県自転車活用推進計画による、自転車通行空間の整備 (舗装修繕 2.1km、路面標示 26.9km、自転車道1.0km、JACR案内看板192基)	サイクリングロードリニューアル
	<b>✓ 「道の駅」の整備・リニューアル</b> ・洋式・多目的トイレの整備。バリアフリー化や子育て支援設備の整備 (リニューアルする道の駅: 8駅)	
		道の駅トイレリニューアル

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の確保	定期的に道路施設の点検を実施し、長寿命化修繕計画に基づく予防的な修繕を行うことにより維持管理費用の削減を図る。

事業名	安全・安心な道路環境対策事業	部局	建設部	課・室	道路管理課
-----	----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	舗装補修費、橋梁補修費、除雪費、交通安全施設費、道路橋梁維持修繕費、県単道路防災費他	31,658,258 千円	36,425,697 千円	42,218,113 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	舗装補修事業	直接	大規模な劣化箇所の補修工事を実施した。(長野市戸隠ほか 24箇所)
2	橋梁補修事業	直接	橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、緊急性の高い橋梁等について、補修設計、修繕及び架替工事を行った。 維持管理に関する省令及び告示の規定に基づく定期点検を行った。 (更埴橋ほか725箇所)
3	災害防除道路事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行う。 道路構造物の法定点検を行った。(麦草～十石峠ほか176箇所)
4	雪寒対策道路事業	直接	スノーシェッド・堆雪帯等の設置を行った。(山ノ内町十二沢ほか5箇所)
5	除雪事業	直接	県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業の実施した。
6	交通安全施設事業	直接	歩道の整備、交差点改良、自動車通行空間整備・踏切改良、道路情報板の設置を行った。(辰野町平出上町ほか 73箇所) 道の駅の駐車場整備、トイレの改修を実施した。(道の駅中条ほか7箇所)
7	電線共同溝整備事	直接	電線共同溝の設置を行った。(上田市常田ほか8箇所)
8	雪寒地域建設機械整備事業	直接	雪寒地域内の除融雪機械の購入の実施。 (除雪グレーダー1台、除雪ドーザ3台、凍結防止剤散布車8台)
9	道路橋梁維持修繕事業	直接	橋梁の比較的小規模な工事や、緊急の修繕工事を行った。 県管理道路の舗装を計画的に補修した。 除雪計画書に基づく除融雪の実施した。
10	県単道路舗装事業	直接	凍結深さに対応していない旧舗装構造の箇所を、凍結に対応した舗装構造へと改築を実施した。 電線共同溝の設置に伴う設計や付帯工事の実施した。 (上田市天神ほか7箇所)
11	県単交通安全対策事業	直接	歩道の整備、ポール等の設置、標識の設置を行った。 (佐久市平賀ほか68箇所)
12	県単道路防災事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行った。 (松本市白骨ほか91箇所)